

編集 後記

第51巻の最終号をお届けします。編集上のトピックとして、昨年には第50巻記念事業がありました。本年は英文号発行と思っています。英文論文の投稿規定を作成、投稿を募集し、投稿原稿の審査を経て、11月の発行にたどり着きました。投稿の少なさに大変心配しましたが、実際はその多さのために審査に苦労したほどで、10編の論文を掲載できました。投稿の状況からみれば、会員にある程度のニーズがあったといえるでしょう。もう1つの心配は掲載論文が広く読まれるかどうかです。英文に不慣れな会員も、辞書を片手に読んでみてほしいと願っています。

編集上の大きな出来事として、個人的には、メールの利用を挙げておきたいと思います。これまで、編集に関わるすべての事項は原則的に月1回の編集委員会で決定されていました。いま、査読委員と担当編集委員の選定については、メールを用いて、投稿の受付後に速やかに行われています。これだけでも、著者へのレスポンスがかなり早くなります。もちろん十分ではありません。今後とも審査の迅速化など、会員からの要望には積極的に対応していきたいと考えています。(橋本修二)

次号予告(第52巻:第1号)

原 著

“歯の健康づくり得点”による住民の歯の予測性評価……………熊谷法子, 他
都市住民の健康診査結果からみた白血球数と心電図ST-T異常出現との関連……………仁科一江

公衆衛生活動報告

ケースメソッドを通して「家庭訪問」を批判的に考える

—教材「12番目の妊娠」から学ぶ—…金城芳秀

資 料

大学生における首尾一貫感覚(SOC)スケールの構造化……………坂野純子, 他
精神保健福祉法改正施行直前の市区保健所における精神保健福祉活動の実施状況…大井 照, 他
抑うつ症状とその関連要因についての検討
—北海道の一短期大学における調査から—
……………小林幸太, 他
看護系教育課程を持つ大学における疫学・生物統計学教育の実態調査……………田中司朗, 他

御礼

新潟県中越地震にかかる災害見舞金の募金箱を第63回日本公衆衛生学会総会会場内に設置したところ、下記のとおり多額の募金をお寄せ頂きました。ご参加された皆様の暖かいご協力に感謝申し上げます。

募金の総額 420,423円

募金の贈呈 平成16年10月29日(金) 14:30から島根県庁東庁舎健康福祉部長室において、多田学会長から永田健康福祉部長へ目録を手渡しました。

なお、同目録は、新潟県へ向けて出発する「島根県医療救護活動保健師派遣チーム」に託しました。